



高速しが

平成27年
8月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

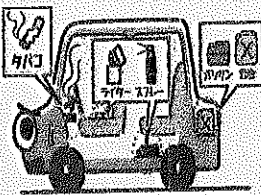
危険！！車両火災の原因は？

猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あります。例年この時期には車両火災の発生が予測されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を再認識して頂いて、火災事故を起こさないための運行前の点検をしてください。

あなたの車に車両火災の危険がないかチェックしてみましょう。

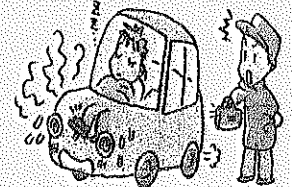
★ 車内に燃えやすいものを置いていませんか？

高温になる車内に、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などを置くと溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



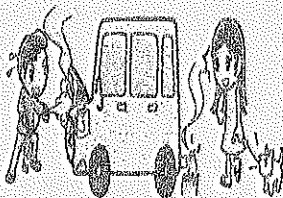
★ 車中仮眠はエンジンを切ってから！

エンジンをかけたままでの車中仮眠は、知らず知らずのうちにアクセルを踏み込むことでエンジンが高回転を続けて異常に加熱し、車両火災を引き起こすことがあります。また、燃料の無駄遣いや騒音公害のほか、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性も高くなるので、絶対にやめましょう。



★ 駐車場所は安全ですか？

高速走行後、エンジンや排気管が熱くなっているとき、枯れ草や紙くずなどがある駐車場所に、エンジンをかけた状態で長時間駐車しておく、高温となっているエンジンやマフラーなどの熱によって発火する危険があります。



★ エンジンオイルの点検を忘れずに！

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイル量が減っていたり、交換時期を忘れてオイルの劣化を招くと潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

びわ湖大花火大会に伴う渋滞情報

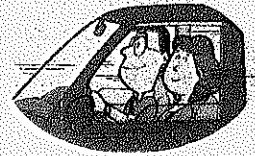
今年も恒例の花火大会が8月7日(金)に開催されます。(荒天時は8月10日(月)に延期) 大津インターチェンジ周辺では、花火見物車両の路肩停止や脇見による減速等によって、本線車道が渋滞することが予想されます。花火大会当日は、京滋バイパスを利用して頂き、渋滞緩和に御協力をお願いします。



交通事故にあわないために

いよいよ夏本番です。夏のレジャーやお盆の帰省などで高速道路を利用する車両が増加し、車両集中による交通渋滞が起こります。いろいろな募つての交通事故も多発する時期です。安全運転のポイントを守り、事故のない楽しい夏を過ごしましょう。

《安全運転のポイント》



1 出かける前に点検を！

高速道路での故障件数は一日に約200件です。タイヤの溝の深さ、空気圧のチェック、冷却水やエンジンオイル、燃料の残量の確認をしましょう。



2 駐停車は決められた場所で！

高速道路の路肩、サービスエリアの加速車線・減速車線は駐停車禁止です。追突の危険もあるためサービスエリアやパーキングエリア内で休憩しましょう。

3 安全速度を守る！

速度超過による事故は重大事故に直結します。自分勝手な運転はせず安全運転で目的地へ向かいましょう。



4 ストップ・居眠り運転！

高速道路の運転など動作が少ない環境では、運転中に眠くなった経験が80%、眠気によるヒヤリハットの経験が50%もあります。「もう少し」と無理をせず早めにSA・PAで休憩を取りましょう。



5 積み荷の落下に注意！

落下物は落とした人の責任です。しっかり固定し、積み過ぎはしない・させないようにして出発・休憩時には必ず点検をしましょう。



6 渋滞時はハザードランプを点灯！

渋滞を発見し、低速走行や停止をする場合は、ハザードランプを点灯し、後続車に合図しましょう。また、車間距離は常に意識的に長めに保つことが大切です。



高速道路における緊急時の対処法

- 1 絶対に歩き回らない
- 2 後続車に合図する
- 3 安全な場所に避難する
- 4 避難してから通報する